

子ども主日
説教

オリニ主日をむかえて

＜ルカによる福音書18：16～17＞



清水のぞみ（大阪教会教育主事）

キリスト教教育において、教会暦は重要なものであります。暦というのは、その国や地域の文化・風習と密接な関係があり、私たち人間は、それぞれの文化・風習、また祭りを体験することによってそのコミュニティーの一員として成長していきます。同じように、キリスト教会には教会暦があり、その折々の礼拝、祭り、行事を体験することによって神からの語りかけに心を向け、キリスト者として生きるという事を確認します。そして教会には、その暦と共に典礼色が設けられています。私はこの典礼色もまた子どもたちと礼拝を豊かにささげるために欠かせないものだと考えています。

私が子どもたちと共に礼拝をささげるとき、暦が変わるときには必ず典礼色について、「色の話」から説教を始めます。「教会には、特別なカレンダーがあります。今は〇〇節という期節です。じゃあ、この期節を表す色は何色でしょう？」と問いかけると、子どもたちからはいつも楽しい答えが返ってきます。私が大阪教会で教育主事として仕えて3年目を迎えますので、最近では子どもたちもよく理解してきて、わりと真面目な答えが返ってくるのですが、初めの頃は本当にたくさん色と、おもしろい理由がありました。特に子どもたちは「青色」と答えます。「神さまのいる空の色だから」「きれいな色だから」「心が癒される色だから」と大人では思いつかないような事を、本当に楽しそうに話してくれます。復活節や降誕節に用いられる「白」についても、「今の期節の色はイエス様を表す白です。白にはどんな意味があると思いますか」と聞いてみると「イエス様の服の色」、「イエス様のそばを飛んでいる鳥の羽の色」など、若干よくわからない理由も含め、生き生きとした表情、友達の面白い答えを期待するわくわくした顔が並び、子どもたちを前にして「礼拝を通して神と出会う」ということはこういうことではないか、と思わされます。そして、そんな時、イエスが子どもを祝福される場面を思い出します。

イエスが弟子たちに「子どものように神の国を受け入れる人でなければ……」と語られたとき、私たちはしばしば、

子どもの無垢で無邪気でかわいらしい部分をイメージし、この子どもたちのように素直に神の国を受け入れる事が大切なんだ、と思うのではないのでしょうか。けれども、当時子どもたちは良いイメージの存在ではなかった、という事を思い起こさねばなりません。当時のイスラエルは聖書にも「男だけで」と何度も記述されるように、男性中心の社会でありました。子どもは数にも入らない、無視された存在でありました。2000年以上たった今の日本社会でも、子どもという存在に変わりはないのかもしれませんが。子どもの人権について叫べばれつつも、未だ大人中心の社会であります。では、私たちの教会の中ではどうでしょうか？

日本の教会から子どもの声が減ってきて久しくなります。私たち教会は、「自分の」信仰を成長させることに夢中になって、子どもという存在を無視してきたのではないのでしょうか。子どもは愛情を受け取ることが本当に上手です。無条件で愛を受け取れることを教えてくれます。ですから、愛情をもらえないと感じるとその態度もまた然りであります。教会は「大人の」都合をおしつけてこなかったでしょうか。イエスが子どもを祝福された出来事は、無視されてきた存在を認めるという出来事であったと思います。教会の中で、子どもたちが子どもらしくしていればいほど、アクシデントは起こりますし、うるさくなりますし、大人は疲れてしまいます。でも私たちは「静かにしなさい」ではなく、子どもたちが神と出会うとはどういうことか、なにができるのか、と本気で考えなければならないのではないかと、思います。

私たちの教会が「自分の信仰成長」にこだわるのではなく、子ども達との交わりから生まれる「お互いの信仰成長」を目指すものでありたいと願います。そして、その具体的方法は、イエス様が教えてくださった、互いに愛しあう事、ではないかと考えます。イエス様は子どもという小さな存在から神の国について語られました。このことを覚えてじっくりとイエスの言葉と子どもたちとに向かい合うオリニ主日でありたいと思います。

2019年 青年会全国協議会 夏季修養会案内

青年会全国協議会では下記の通り夏季修養会を行います。この機会にぜひ参加して、信仰のことや在日のことなどいろいろな悩みを語り合っては如何でしょうか。ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

- ◎テーマ 「キリストにあって、1つ」 ～喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く～
- ◎日 時 2019年8月12日(月)～14日(水)
- ◎開催地 愛知県民の森 〒441-1693 愛知県新城市門谷鳳来寺7-60
- ◎参加費 20,000円
- ◎補 助 学生は参加費キャッシュバック有、交通費全額補助
- ◎問合せ・申込先 代表 中野晃徳 nknaknr0821@gmail.com 副代表 張晶洙 suyachan0127@gmail.com

関東地方会

第70回定期総会を開催 新会長に金秉喆牧師(東京聖山)選出

2019年4月29日、在日本韓国YMCAスペースYにて関東地方会第70回定期総会が開催された。

総代員95名中69名が出席し、各種報告と役員改選や献議案などが承認された。開会礼拝には地方会長の張慶泰牧師により「主なる神はわが力」(ハバクク3:16~19)という題の説教があり、副会長金秉喆牧師の司式で聖餐式が行われた。

重要な報告や決定事項は以下の通り。

- (1) 宣教師加入式：張承権牧師(基督教大韓監理会から派遣、東京中央教会赴任)、具滋佑牧師(大韓イエス教長老会高神から派遣、東京希望キリスト教会赴任)



金秉喆 新会長

- (2) 献議案承認

・長老選出(増員)：東京中央教会2名、横浜教会2名、川崎教会2名、品川教会1名、東京第一教会2名
・2019年度予算案：19,125,745円

- (3) 新役員

・会長：金秉喆牧師(東京聖山)
・副会長：李明忠牧師(横浜)、金日煥長老(東京)
・書記：郭京煥牧師(東京緑洲)、
・副書記：金容昭牧師(西新井)
・会計：柳町功長老(横浜)
・伝道部長：金根湜牧師(ハンサラン)
・教育部長：李惠淑牧師(愛の伝道所)
・社会部長：金迅野牧師(横須賀)
・宣教協力部長：金根湜牧師(ハンサラン)
・青年部長：金漢羅牧師(大宮)
・女性部長：郭恩珠牧師(삼물)
・壮年部長：李明信牧師(山形ウリ)
・考試部長：張慶泰牧師(船橋)
・財政部長：柳町功長老(横浜)
・監査：金榮千長老(東京)、申大永長老(東京希望)

中部地方会

第56回定期大会を開催 新会長に鄭守煥牧師(豊橋)選出

2019年5月2日、浜松教会にて中部地方会第56回定期総会が開催された。総代員30名中20名が出席し、各種報告と役員改選や献議案などが承認された。開会礼拝には地方会長の崔和植牧師により「生きていれば希望がある」(コヘレト9:6)という題の説教があり、権潤日牧師の司式のもとで聖餐式が行われた。

重要な報告や決定事項は以下の通り。

- (1) 献議案承認

・長老選出(増員)：名古屋教会：2名、
・豊田めぐみ教会地方会負担金補助申請を承認
・朴太元、金智日牧師の無任所牧師延長を承認
・2019年度予算案を承認(5,821,843円)

- (2) 新役員

・会長：鄭守煥牧師(豊橋)
・副会長：全炳玉牧師(名古屋南)、崔宰熏長老(名古屋)
・書記：金明均牧師(名古屋) 副書記：高誠牧師(岐阜)
・会計：金勝正長老(豊橋) 副会計：金誠淑長老(名古屋)
・伝道部長：許光涉牧師(岡崎)
・教育部長：権潤日牧師(浜松)
・社会部長：蔡銀淑牧師(大垣)
・青年部長：高誠牧師(岐阜)
・女性部長：金珍明長老(長野)
・考試部長：鄭守煥牧師(豊橋)
・韓日宣教協力委員会：鄭守煥牧師(豊橋)
・電磁メディア委員会：金勝正長老(豊橋)
・会計監査：金光旭長老(名古屋)、高在道長(名古屋)



鄭守煥 新会長



関西地方会

第70回定期大会を開催 新会長に林明基牧師(京都)選出

2019年5月6日、大阪西成教会にて関西地方会第70回定期総会が開催された。総代員78名中73名が出席し、各種報告と役員改選や献議案などが承認された。

開会礼拝には釜山東老会長の南起龍牧師により「神の人のよ」(Iテモテ6:11~12)という題の説教があり、副会長の林明基牧師の司式のもとで聖餐式が行われた。

重要な報告や決定事項は以下の通り。

- (1) 宣教師加入式：金伸禹牧師(大韓イエス教長老会統合から派遣、大阪教会赴任)

- (2) 献議案承認

・長老選出(増員)：京都教会2名、京都南部教会1名、大阪北部教会3名、大阪教会4名、堺教会1名
・2019年度予算案を承認(8,668,784円)
・関西聖書神学院の院長、理事、監査承認

- (3) 新役員

・会長：林明基牧師(京都)
・副会長：許伯基牧師(京都南部)、金成元長老(大阪)
・書記：朴愛仙牧師(今福)
・副書記：金鍾権牧師(平野)
・会計：裴良一長老(京都)
・副会計：李昌洙長老(平野)
・伝道部長：朴成均牧師(和歌山第一)
・教育部長：宋南鉉牧師(大阪第一)
・社会部長：李根秀牧師(大阪KCC)
・青年部長：崔亨喆牧師(枚岡)
・女性部長：金錦順長老(布施)
・考試部長：趙永哲牧師(大阪北部)
・宣教協力部長：許伯基牧師(京都南部教会)
・壮年部長：金周明長老(京都南部)
・監査：金正吉長老(大阪北部)、黄裕錫長老(大阪)



林明基 新会長



西部地方会

第35回定期大会を開催 新会長に李重載牧師(川西)選出

西部地方会の第35回定期総会が、2019年4月29日、川西教会堂で開かれた。総代39名中30名が参加した。開会礼拝では、会長である韓世一牧師が「限界を超えて」(ヨシヤ記6:1-5)という題で説教し、副会長の李重載牧師の式で聖餐式が行われた。

重要な報告や決定事項は以下の通り。

- (1) 宣教師加入式：尹鍾憲牧師(大韓イエス教長老会合同から派遣、明石教会赴任)
- (2) 長老選出(増員)：武庫川教会1名、神戸教会1名
- (3) 規則改正：銀行口座を開設するために、事務所を神戸教会内にすること。
- (4) 2019年予算案：11,252,002円(内、前年度繰越金3,530,002円)

(5) 役員改選

- ・ 会 長：李重載牧師(川西)
- ・ 副会長：梁榮友牧師(武庫川)、金哲鎬長老(神戸東部)
- ・ 書 記：韓澤柱牧師(姫路)
- ・ 副書記：韓承哲牧師(神戸東部)
- ・ 会 計：朱宗中長老(西宮)
- ・ 副会計：朴永晃長老(神戸東部)
- ・ 伝道部長：韓世一牧師(神戸)
- ・ 教育部長：金永柱牧師(西宮)
- ・ 社会部長：李相徳牧師(三次)
- ・ 信徒部長：金承熙牧師(岡山)
- ・ 考試部長：梁榮友牧師(武庫川)
- ・ 宣教協力部長：李重載牧師(川西)
- ・ 監査：尹聖哲長老(神戸)、梁昌熙長老(武庫川)



李重載 新会長



在日大韓基督教会
西部地方会第35回定期総会
日時：2019年4月29日 午前10時30分～ 場所：在日大韓基督教会 川西教会堂

別府教会

趙顯奎牧師委任式挙行 故趙重來牧師の長男として代を継ぐ



2019年5月5日(主日)西南地方会の別府教会にて、趙顯奎牧師の委任式が行われた。

臨時堂会長の千奉祚牧師の司会による礼拝では、総幹事の金柄鎬牧師による「何も欠けることがない」(詩23:1～6)という題の説教があった。

西南地方会長の金仁果牧師の司式による牧師委任式では、誓約と祈祷、宣布が出された。

委任された趙顯奎牧師は、1982年韓国で生まれ、小、中、高校を日本で卒業、韓国の長老会神学大学校のキリスト教育学科及び神学大学院を卒業し、2017年牧師按手を受けて大韓イエス教長老会(統合)から宣教師として派遣された。

また、趙顯奎牧師は元総会長であり、つくば東京教会や船橋教会を歴任した故・趙重來牧師の長男で、宣教師の二代目としての期待が大きい。家族は夫人と2女がいる。

西南地方会

第69回定期大会を開催 新会長に金仁果牧師(福岡)選出

2019年4月29日、博多教会にて西南地方会 第69回定期総会が開催された。

総代員20名が出席し、各種報告と役員改選や献議案などが承認された。開会礼拝には地方会長の李惠蘭牧師より「わたしたちの父よ」(マタイ6:9)という題の説教があり、尹善博牧師の司式のもとで聖餐式が行われた。

重要な報告や決定事項は以下の通り。

- (1) 宣教師加入式：趙顯奎牧師(大韓イエス教長老会、統合から派遣、別府教会赴任)、金成彦牧師(韓国基督教長老会から派遣、下関教会赴任)
- (2) 献議案承認
 - ・ 「西南地方会規則改正・修正の請願」
 - ・ 「熊本・大分地震特別委員会活動を宣教協力部の活動内での継続」

- ・ 長老選出(増員)：小倉教会1名、折尾教会1名、福岡教会2名、

- ・ 別府教会の財政補助の請願

- ・ 2019年度予算案：7,630,000円(内、前年度繰越金3,658,000円)

(3) 新任員

- ・ 会 長：金仁果牧師(福岡)
- ・ 副会長：金聖孝牧師(熊本) 金定明長老(宇部)
- ・ 書 記：尹善博牧師(博多)
- ・ 会 計：高文国長老(別府)
- ・ 教育部長：辛治善牧師(福岡中央)
- ・ 社会部長：朱文洪牧師(小倉)
- ・ 宣教協力部長：尹善博牧師(博多)
- ・ 女性部長：千奉祚牧師(折尾)
- ・ 考試部長：金聖孝牧師(熊本)



金仁果 新会長



東京中央教会

張承権牧師委任式挙行 執事按手、勸士就任、名誉長老推戴式も



2019年5月12日(主日)関東地方会の東京中央教会にて張承権牧師の委任式と執事按手式、勸士就任式、名誉長老推戴式が厳粛に行われた。臨時堂会長の金柄鎬牧師の司会による礼拝では、関東地方会副会長の李明忠牧師が「神に信頼される教会」(テモテⅡ4:2)という題の説教をされた。関東地方会長の金秉喆牧師の司式による牧師委任式では、誓約と祈祷、宣布が出された。

引き続き行われた尹初子名誉長老推戴式、金渡淵、崔弘鎮執事按手式、李有仙、李正花、諸葛桂玉勸士就任式は東京中央教会の新任堂会長の張承権牧師の司式のもとで行われた。今回の式典において任職者たちと共にささげられた感謝献金(85万円)が総会内の未自立教会と韓国江原道の山火事によって全焼した教会の再建のために送ることになり、東京中央教会のこれからの宣教の歩みが大きく期待される。委任された張承権牧師は、1971年韓国で生まれ、監理教神学大学院を卒業し、2010年牧師按手を受け、基督教大韓監理会派遣宣教師として赴任された。

明石教会

尹鐘憲牧師委任式挙行
李聖雨名誉牧師推戴式も同時に

2019年5月19日(主日) 西部地方会の明石教会において尹鐘憲牧師の委任式及び李聖雨名誉牧師推戴式が行われた。

臨時堂会長の韓澤柱牧師の司会による礼拝では、総幹事金柄鎬牧師による「くびきを負って」(エレミヤ28:1～11)という題の説教があった。

西部地方会長の李重載牧師の司式による牧師委任式では、誓約と祈祷、宣布が出された。引き続き李聖雨名誉牧師推戴式が尹鐘憲牧師の司式のもとに行われた。

この度、委任された尹鐘憲牧師は、1962年韓国で生まれ、総神大学校神学大学院を卒業し、1994年牧師按手を受け、大韓イエス教長老会(合同)から宣教師として派遣された。家族は夫人と1男、1女がいる。

明石教会の名誉牧師に推戴された李聖雨牧師は、1948年韓国で生まれ、総神大学校神学大学院を卒業し、1978年牧師按手を受けた後来日し、神戸改革神学校、愛知大学法学部などで学んだ。1982年に大韓イエス教長老会(合同)から宣教師として派遣され、豊橋教会(1982年～1989年)、武庫川教会(1989年～2012年)を経て2012年から明石教会に赴任し、2018年に隠退した。その間西部地方会長、総会の賛頌歌委員長、第48回期(2005年～2007年)に総会会長を歴任した。

関西地方会

アシュラム祈祷修養会開催
崔弘奎牧師(ソウル加里峰教会)を講師に

関西地方会伝道部が主催する第48回アシュラム祈り修養会が、5月13日(月)～14日(火)、ホテルロイヤルヒル福知山で「心を合わせて祈ると!」(マタイ18:19)というテーマで、崔弘奎牧師(ソウル加里峰教会)を講師に招き、地方会各教会より95人が集って開催された。講師の崔弘奎牧師は、冒頭の礼拝で「最も尊敬される人」(歴上4:9～10)という題で説教し、参加者全員に新しい希望と恵みを与えた。

礼拝後は「1次分団祈り会」を通じて参加者が自己紹介をし、祈祷会参加の目的と祈りの課題を交わした。そして、崔英淑執事(大阪北部の教会)の証があり、二回目の説教で崔弘奎牧師は「尋ね求めるときと呼び求めるとき」(イザヤ書55:6)という題で説教し、参加者に開会礼拝の時以上に大きな恵みを与えた。特に韓国空軍軍牧の時の、信仰的例を通して祈りの重要性を思い出させてくれた。

夕礼拝後には、「2次分団祈り会」の時間を持ち、心を一つにし熱心に祈った。

翌日の3回目の説教は、「主に信頼せよ」(歴下20:20～2)の題で説教し、祈祷、讃美、黙想、分団証しなどを通して恵み深い祈祷会となった。

(報告:宋南鉉牧師)



下関教会

金成彦牧師委任式挙行
金鍾武牧師の長男、在日宣教に期待

2019年5月19日(主日) 西南地方会の下関教会において金成彦牧師の委任式が行われた。

臨時堂会長崔榮信牧師の司会による礼拝では、総会長の金鐘賢牧師が「主の愛に駆りたてられて」(IIコリント5:11～15)という題の説教をされた。

西南地方会長の金仁果牧師の司式による牧師委任式では、誓約と祈祷、宣布が出された。

委任された金成彦牧師は、1978年韓国で生まれ、中、高校を日本で卒業、韓国の延世大学校、韓神大学校神学大学院を卒業し、2018年牧師按手を受け、韓国基督教長老会から宣教師として派遣された。

金成彦牧師は、以前西新井教会や船橋教会で宣教師として牧会した金鍾武牧師の長男として生まれた二代目の宣教師であり、これからの働きに期待される。家族は夫人と1女がいる。

熊本・大分地震3周年記念礼拝
報告会兼ね竣工間もない熊本教会で開催

竣工まもない熊本教会にて4月22日(月)「熊本・大分地震3周年記念礼拝及び報告会」がもたれた。一部の礼拝には社会委員長の鄭守煥牧師がイザヤ書40章1節より「わが民を慰めよ」の題の説教をした。

引き続きの報告会では、佐藤信行さん(外国人被災者支援センター)、飯塚拓也牧師(関東教区宣教委員長)の挨拶の後、熊本地区報告を川島直道教師(熊本地区委員長)、大分地区報告を工藤俊一教師(大分地区委員長)、エルビスくまもとの報告を金聖孝牧師(エルビスくまもとセンター長)が行った。参加者は36名(うち西南地方会から3名)であった。

震災から3年の歳月が流れたが仮設住宅などで生活されている被災者はまだ1万6千人を超え、来年3月末には全ての被災者が災害公営住宅への入居できるようになる予定である。その時までKCCJ全体で祈りを合わせていきたい。

金健牧師(川崎教会)が召天
前夜式と告別式に600名以上が弔問

在日大韓基督教会の副総会長であり、川崎教会の担任牧師である金健牧師が、去る2019年5月11日持病で天に召され、川崎教会において教会葬が行われた。享年59歳。

故・金健牧師は1959年日本の熊本で生まれ、東京神学大学を卒業後1988年関東地方会において牧師按手を受け、札幌教会、大阪教会、下関教会での牧会、またカナダへの留学を経て2003年から15年間川崎教会に仕えてきた。その間、関東地方会の会長、総会の歴史編纂委員長、副書記などを歴任し、2017年第54回定期総会において副総会長に選出された。

5月15日および16日に川崎教会で行われた前夜式と告別式には述べ600人を超える人々が弔問に訪れた。

<前号公告の訂正>

前号の公告「2019年度牧師・伝道師考試及び宣教師加入考試」の年度が間違っていましたので、お詫びし訂正致します。